

## 編集後記

編集後記の執筆の順番が回ってきた。字数は800字。テーマは自由。原稿の締め切りまであと三日しかない。締め切りは二か月前からわかっていた。困った。何を書けばいいのか思いつかない。他の人の編集後記を読んでみた。みんな立派なことを書いている。さらに困った。お気楽に考えすぎていた。文末にはフルネームが入る。馬鹿なことは書けない。馬鹿なことしか書けない自分にとってこれは辛い。コンプレックスがある。科学的雑学に乏しい。先日の編集委員会の際にブルーボックスの話題になった。高校時代に読む物らしい。ブルーボックスを読んでこなかった。ブルーボックスではなく文学作品を好んだ。いわゆる文学青年だった。中学高校生時代にいわゆる純文学という作品をほとんど読みつくした。太宰治に傾倒し丸暗記するくらい読み倒した。中学時代は俳句を作っていた。高校時代は詩を書いた。大学時代は万葉集にはまった。大学院時代はファッ

ションとして哲学書を読んでいた。かなりナンパな学生時代を送った。地上に太陽を作る話に憧れて研究者をめざした。レーザー核融合には夢があった。大学も学部も学科も研究室もそれで選んだ。そしてこうしてプラ核学会誌の編集後記を書いている。運にも縁にも恵まれていた。「日本で餓死することはない。夢さえあれば食べていける。」大学院時代の恩師が言った。今は状況が違う。その時代は確かにそうだった。自由にやってきた。海外生活も経験した。先のことを考えない。それをモットーとしてきた。だから今締め切りに追われている。頼まれた仕事は断らない。それもモットーとしてきた。だからこうして編集委員をしている。副主査もしている。何にでも挑戦する。新しい環境が好き。自己紹介のようになってしまった。テーマは自由。許されるだろう。700字を超えた。もう少しだ。案外何とかなるものだ。テーマは“自由”。自由にやってきた。研究には自由がよく似合う。(加道雅孝)

### プラズマ・核融合学会役員

会 長	小森 彰夫	副 会 長	永津 雅章 (推薦委員長: 研究助成, 男女共同参画委員長)	吉田 善章 (推薦委員長: 学会賞)
常務理事	室賀 健夫 (総務委員長)			
理 事	浅野 克彦 内野喜一郎 草間 義紀 (広報委員長) 白神 宏之 (支部・地区研究連絡会委員長) 波多野雄治	安藤 晃 小野 靖 久保 博孝 白谷 正治 (研究部会連絡委員長) 福山 淳 (年会運営委員長)	上田 良夫 甲斐 俊也 (財務委員長) 佐々木浩一 (企画委員長) 豊田 浩孝 (編集委員長)	
監 事	市村 真 森田 純子			

### プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディタ: 豊田浩孝(名大) 副委員長: 波多野雄治(富山大)

エディタ: 金子俊郎(東北大), 坂本瑞樹(筑波大), 中村祐司(京大), 長友英夫(阪大), 小西哲之(京大) 佐々木浩一(北大)

編集委員: 安堂正己(原子力機構), 石澤明宏(京大), 稲垣 滋(九大), 太田貴之(名城大), 大西直文(東北大), 小田昭紀(千葉工大), 小田卓司(ソウル国立大), 陰山 聡(神戸大), 加道雅孝(原子力機構), 川崎仁晴(佐世保高専), 齋藤和史(宇都宮大), 清水昭博(核融合研), 白石裕之(大同大), 須田善行(豊橋技科大), 高橋俊樹(群馬大), 近田拓未(静岡大), 仲野友英(原子力機構), 沼田龍介(兵庫県立大), 比村治彦(京都工繊大), 松岡彩子(JAXA), 宮澤順一(核融合研), 森 芳孝(光産業創成大学院大), 森本泰臣(日揮), 八木重郎(核融合研), 八柳祐一(静岡大), 山本 聡(京大), 余語覚文(阪大)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

### プラズマ・核融合学会誌第91巻第10号

編集・発行

〒464-0075 名古屋市千種区内山3丁目1-1 4階

一般社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会

Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485

E-mail: plasma@jspf.or.jp URL: <http://www.jspf.or.jp/> 定価1,300円(税別)

印刷 株式会社荒川印刷

2015年(平成27年)10月25日

本誌に掲載された寄稿等の著作権は一般社団法人プラズマ・核融合学会が所有しています。